

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年05月20日

計画の名称	1 2 安全・安心のまちづくりを支援する道路および環境整備（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	津山市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道整備等による道路環境整備を行い、交通の円滑化、自転車・歩行者の安全・安心を確保する。</li> <li>・老朽化が進む道路ストックを適切に管理することにより、道路利用者の安全性を高めるもの。</li> </ul>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	693	A	663	B	0	C	30	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	4.32	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	自転車・歩行者の通行における交通難所7箇所（H31）を解消 自転車・歩行者通行における交通難所の解消箇所数	0箇所	2箇所	7箇所
2	事故対策により死傷事故件数を概ね2割（H31）減少 事故対策による死傷事故件数の減少割合（死傷事故減少率） 死傷事故減少率 = (整備前死傷事故件数 - 整備後死傷事故件数) / (整備前死傷事故件数)	0割減少	1割減少	2割減少

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	津山市	直接	-	市町村道	交安	津山市街地地区(1)中央線	歩道整備 L=0.41km	津山市						35	-	-	
		H27~P4社会資本から																		
	A01-002	道路	一般	津山市	直接	-	市町村道	交安	津山市街地地区(他)福岡136号線	歩道整備 L=0.15km	津山市							131	-	-
		H27~P4社会資本から																		
	A01-004	道路	一般	津山市	直接	-	市町村道	交安	(他)福岡43号線	歩道整備 L=0.9km	津山市							34	-	-
		H30~P15へ																		
	A01-005	道路	一般	津山市	直接	-	市町村道	交安	(1)勝部川崎線	歩道整備 L=0.8km	津山市							19	-	-
		H30~P15へ																		
	A01-007	道路	一般	津山市	直接	-	市町村道	交安	(他)院庄59号線	視距改良 L=0.1km	津山市							22	-	-
		H30~P15へ																		
	A01-008	道路	一般	津山市	直接	-	市町村道	修繕	(1)日上小桁線 ほか	橋梁修繕 2橋	津山市							53	-	-
		H28~P13へ																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-009	道路	一般	津山市	直接	-	市町村道	修繕	(他)中央285号線	歩道橋修繕 1橋	津山市						28	-	-	
		-																		
	A01-010	道路	一般	津山市	直接	-	市町村道	修繕	(1)新錦橋押入線ほか	舗装修繕 L=155km	津山市							185	-	-
		-																		
	A01-011	道路	一般	津山市	直接	-	市町村道	修繕	(1)新錦橋押入線ほか	道路防災施設 N=20箇所	津山市							31	-	-
		-																		
	A01-012	道路	一般	津山市	直接	-	市町村道	修繕	(1)新錦橋押入線ほか	道路附属物修繕 N=20箇所	津山市							32	-	-
		-																		
	A01-013	道路	一般	津山市	直接	-	市町村道	修繕	長寿命化計画策定事業	橋梁点検計画策定1335橋	津山市							27	-	-
		H28~P13^																		
	A01-014	道路	一般	津山市	直接	-	市町村道	交安	(他)西苫田144号線	歩道整備 L=0.04km	津山市							51	-	-
		H30~P15^																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-017	道路	雪寒	津山市	直接	-	市町村	除雪(	(他)知和青柳線 ほか	除雪機械 1台	津山市						15	-	-
											小計						663		
											合計						663		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	C01-001	道路	一般	津山市	直接	-	市町村	計画調	道路防災施設整備計画	道路防災施設点検 N = 125箇所	津山市						5	-	-	
		津山市域内の道路防災施設について、道路防災施設の点検と長寿命化修繕計画の策定を行い、効果的・効率的な維持管理を行っていくことで、安全性・信頼性の確保を図る。																		
	完了																			
	C01-002	道路	一般	津山市	直接	-	市町村	計画調	道路附属物整備計画	道路附属物点検 N = 579箇所	津山市							25	-	-
		津山市域内の市道管理の道路附属物について、整備計画策定を目的とした点検を実施し、安全性・信頼性の確保を図る。																		
	完了																			
											小計							30		
											合計							30		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
都市建設部土木課において評価を実施	令和2年5月
	公表の方法
	津山市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	市道中央線の歩道整備により、自転車・歩行者の安全性及び景観が向上した。 市道福岡136号線の歩道整備により、通学路における自転車・歩行者の安全性が向上した。 日上小桁線外の橋梁修繕により、安全性・信頼性が向上した。 市道中央285号線の歩道橋修繕により、歩行者の安全性・快適性が向上した。 市道西苦田144号線の歩道整備により、通学路における自転車・歩行者の安全性が向上した。 除雪機械の更新により、除雪作業の効率化が図られ安全性が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
別パッケージに移行した(他)福岡43号線、(1)勝部川崎線、(他)院庄59号線については、引き続き事業を推進していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	7箇所	
	最終目標値	7箇所
	最終実績値	7箇所
2	2割減少	
	最終目標値	2割減少
	最終実績値	10割減少